

1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面	弱	強	指数
思索型	内閉性：孤独な面があり内省するタイプ	[Progress bar]		35
	客観性：思慮深く冷静に判断するタイプ	[Progress bar]		55
活動型	身体性：活動的で機敏に動き回るタイプ	[Progress bar]		64
	気分性：気分で行動に変化があるタイプ	[Progress bar]		38
努力型	持続性：何事も粘り強くやり通すタイプ	[Progress bar]		82
	規則性：規則等を重視し行動するタイプ	[Progress bar]		66
積極型	競争性：競争心が強く積極的に動く傾向	[Progress bar]		32
	自尊心：自らのプライドを尊重する傾向	[Progress bar]		37
自制型	慎重性：慎重に見通しをつけて動く傾向	[Progress bar]		53
	弱気さ：考えすぎて遠慮がちになる傾向	[Progress bar]		33

■ この人の中心性格は「努力：持続性」および「努力：規則性」であるが、「活動：身体性」や「思索：客観性」といった側面も本人は意識している。

● 「努力：持続性」及び「努力：規則性」の人のパーソナリティスケッチ
 コツコツと几帳面な人です。生活ぶりもキチンとしていて、丹念な仕事ぶりがうかがえます。スタート・ダッシュはそれほどでもないのですが、息切れせず、いつまでも走りつづける長距離ランナー型といえるでしょう。また、徹底したところもみられ、それがときにははつこさに映ることもあります。世間のきまりや常識を大切にしていますから、ものごとの判断は拘り定規になりがちです。そのために堅物との印象があり、意見やアイデアは手堅く、確実ではあるものの、斬新さや柔軟さに欠ける傾向があります。とはいうものの、大きな失敗をしないことがこの人の取り柄であり、安心して任せられる大人といえます。

● もう一方の性格特性
 人に負けたくないというピリピリした競争心はなく、むしろ他人には寛容な性格といえるでしょう。目立つよりも人と協調していこうとする心優しいところが見られます。どんな場面でも控えめで、自己主張を繰り返すようなことはしません。自分を認めさせようとしてしゃしゃり出るようなところは見あたりません。

< この帳票の見方 >

自己分析シートでは、性格、社会性、意欲の側面から診断しています。
 まず1ページ目では、あなたの中心性を示し、次に日常的な生活場面での行動傾向を述べています。また、あなたの強み・弱みの把握ができるよう、具体的なアドバイスも記述されています。心理イメージに描かれている顔のイラストは、顔と人間の性格についてよく言われる言い回しをもとにあなたのモニターージュを作成しました。具体的な顔ではなく、心の顔を絵で写し出そうとしたものです。
 2ページ目では、具体的な職場場面での対応力、自己評価と行動予測をグラフで示しています。対応力や行動予測は、1ページ目の診断結果より、あなたの行動傾向を予測したものです。
 あなたが思う本当の自分とのズレを感じる部分もあるかと思いますが、この診断結果によって、自分を見つめ直し、自己理解を深める機会ととらえて下さい。さらなる向上を目指すには、まず自分自身を知ることが大切です。自分を知り、さらなる向上を目指す手だてとして、ご活用下さい。

2 一般的な場面での社会性

社会の側面	弱	強	指数
積極性・活発度	[Progress bar]		62
周囲との協調性	[Progress bar]		74
責任感・一貫性	[Progress bar]		76
自分への信頼度	[Progress bar]		59
指導・指示傾向	[Progress bar]		66
仲間との共感性	[Progress bar]		63
感情の安定度合	[Progress bar]		61
他者への従順性	[Progress bar]		69
自ら進んで実行	[Progress bar]		33
社会的自我確立	[Progress bar]		72

- 「自ら進んで実行」について
 自ら進んで実行とは、自分のすべき事や役割を正しく理解し、積極的に実行する力、判断の度量などを表しています。自己の力量において、どの程度の行動がとれるかの尺度とも言えます。この傾向が低い場合は、
 ▼自分の考えがあっても、先輩や専門の人の意見を優先してしまったりする
 ▼指示を待っていたり、なるべく目立たないようにしているなど、消極的に見えることがある
 といったことが考えられます。役割や仕事内容、周囲の状況を正しく理解すると、自分のとるべき行動が見えてきます。行動の範囲を拡大する意味でも、責任の範囲内における自らの積極性を持つことが必要です。
- 「責任感・一貫性」について
 責任感・一貫性とは、引き受けた任務や役割分担に対する認識度を表し、自らが責任をもって物事を最後まで投げ出さない姿勢を意味します。職務や役割に対する責任感と言い換えられます。この傾向が高い場合は、
 ▼見込みがないことでも、気持ちの切り替えができず、新しい事に控えめになる
 ▼思い入れが強い分、うまくいかない時は、他罰的になるか必要以上に自分に責任を感じてしまう
 といった行動になりがちです。何でも引き受けてしまうと、逆に身動きがとれなくなります。分担すべきところは分担するなど割り切る姿勢も必要です。真剣な一生懸命さはいいのですが、時には息抜きも必要です。

3 心理イメージ

■心理イメージをイラストであらわすと

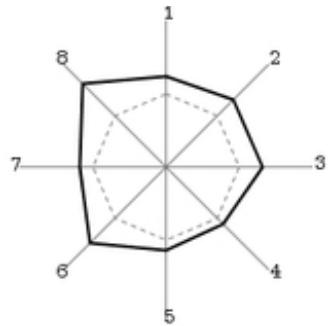
- がんばり屋の性格 → 角張った顔
- 何でも素直に受け入れる → 肩が下がっている
- 周囲を引っ張っていく → 太い眉
- 適度に目標を目指す → 中ぐらいの瞳
- 新しいものにそれほど飛びつかない → まっすぐな目
- 目立ちたがり屋ではない → 普通の鼻
- 人と一緒にいるのが好き → 笑った口元

となり、右のような顔ができあがります。



4 仕事場面での対応力

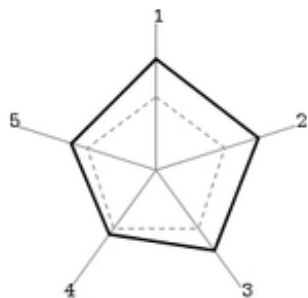
■何事にも積極的な姿勢で取り組む傾向



- 1 : 積極性・活発度 62
- 2 : 働く事への意欲 66
- 3 : 指導・指示傾向 66
- 4 : 上下関係を意識 56
- 5 : 自己アピール度 57
- 6 : 周囲との協調性 74
- 7 : 自分への信頼度 59
- 8 : 逆境に耐える力 82

どんなときにも積極的に仕事に取り組もうとしている様子うかがえます。仕事に対する興味、役割認識などもできているようで、自信を持っておこなっていることと思われます。時間配分や目的達成への計画などにも気を配り、さらに実力を発揮していくよう、今後のますますの健闘を期待します。

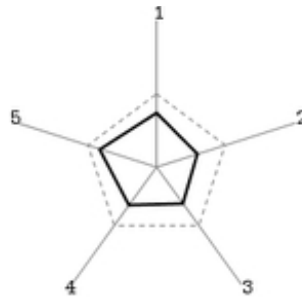
■ねばり強く最後までやろうとする傾向



- 1 : 責任感・一貫性 76
- 2 : 規律正しい行動 74
- 3 : 他者への従順性 69
- 4 : 安全・安定傾向 55
- 5 : 感情の安定度合 61

責任感が強く、自分の感情をおさえて行動できるほうです。何が起きても動揺することなく、落ち着いて対応できます。ただ理不尽なことや見込みのないことも受け入れ、時間ばかりかかるということはないでしょうか。冷静に判断することで、もともとの集中力や責任感が生かされ、周囲の信頼も集まることと思われます。

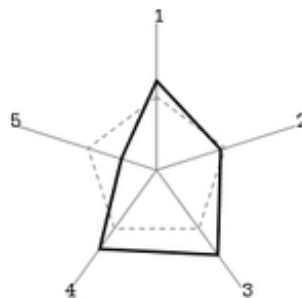
■人に頼らず自分の力で成し遂げる傾向



- 1 : 独自の行動指針 37
- 2 : 実力・能力主義 30
- 3 : 慣習・慣行打破 31
- 4 : 自ら進んで実行 33
- 5 : 行動の自己管理 42

自分の力を信じ、先に進もうとするには、ときには周囲を蹴散らす勢いも必要です。あなたの場合は周囲と仲良くし、おだやかに過ごしたいという気持ちが強いようです。ただの仲良しで満足せず、自分をより高めていくには、そこから一歩抜け出する必要があります。個人的な興味の実践をしてみるといいでしょう。

■強い意志を持ち前に進もうとする傾向

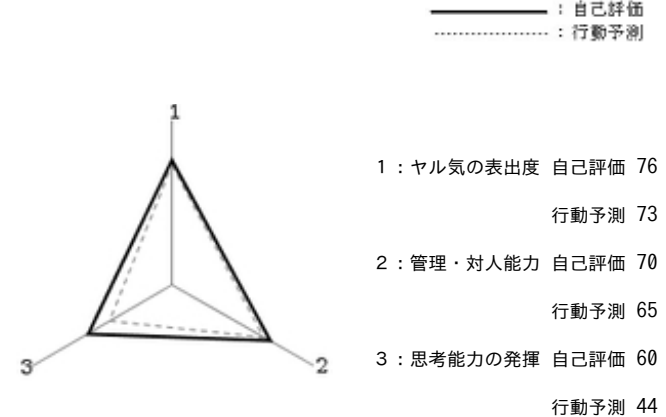


- 1 : 感情の安定度合 61
- 2 : 思い切った行動 47
- 3 : 社会的自我確立 72
- 4 : 明るく、積極的 67
- 5 : 多様さの受入れ 26

たとえトラブルが生じて、落ち着いて処理できるよう。一度決めたことは迷わずに突き進んでいこうとします。ときには軽はずみな行動があるかもしれませんが、そんなときでも事後の的確な対処をすることができるでしょう。周囲との協力関係を強化することで、より信頼される存在となれるでしょう。

5 自己評価

■自己評価と行動予測の比較



■やる気の出出度について

積極的に仕事を進める能力があり、自分でも自信を持って取り組んでいる様子うかがえます。どんなことでも、自分で自分をきちんと評価していなければ、本来の力は発揮できません。あなたの行動の結果は、周囲も評価していることと思われます。目的を見失わず、ますます前進していくことを期待します。ただし、周囲とのバランスには注意したほうがよさそうです。自分の求められている役割や仕事内容について再確認し、一人の考えで突っ走ってしまうことのないように気をつけて下さい。

■管理・対人能力について

周りとの関係、特に部下を引っ張っていくことができ、自分でも自信を持って行動しているようです。リーダーとしての役割を發揮する上では、自分の力を信じていることが重要です。的確な判断力、いざというときに動揺しない精神力など、必要な要素は様々ですが、やはり自分自身を評価していないのでは、実際の行動が伴わなくなります。ただ、専門的な知識や技術力がなくては、説得力のあるリーダーがとまりませんから、日々の自己鍛錬は必要不可欠です。ますますの活躍が期待できます。

■思考能力の発揮について

専門的な知識や情報源などをたくさん持っているにも関わらず、それをうまく表現できずにいるようです。思っているよりも、自己表現が苦手なのかもしれません。企画力や知識などは自分なりの勉強でどんどん伸ばしていくことができますが、せっかくのスキルを發表できなくては宝のもちぐされとなります。自分に求められている役割や職務を再確認し、自分のアイデアをどんどん相手に伝えていきましょう。また、タイミングよく立案するために、周囲の状況をよく把握しておくことも大切です。